

資産運用レポート：気絶投資法

1 はじめに

苦瓜達郎氏の著書『ずば抜けた結果の投資のプロだけが気づいていること』から引用します。

そして買ったあとは、株を買ったことをさっぱり忘れてしまうことをお勧めします。株価というのは、日々追いかけていても、あまり実りのあるものではありません。

さらにいえば、個人投資家が株式投資で勝つには、株式市場がボロボロになったときに買い、そのまま気絶したようにそのことを忘れてしまうのが「王道」です。これを私は「気絶投資法」と呼んでいます。

たしかにグッドアイデアです。ただ本書では、気絶投資法の具体的なやり方まで言及されていません。とりわけ次の2点について、知りたい方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

- (1) ボロボロの相場で買い、そのことを忘れてしまうと、いくらのリターンを得られるのか
- (2) そのまま気絶するのであれば、どのような銘柄でポートフォリオを組めばいいのか

今月号の資産運用レポートでは、株式市場がボロボロになった2003年2月、2011年3月における私のポートフォリオを「そのまま気絶したようにそのことを忘れてしまうと、いくらのリターンを得られたのか」シミュレーションを行いました。

さらにシミュレーション結果を踏まえて、気絶投資法では「どのような銘柄でポートフォリオを組めばいいのか」仮説を立ててみたいのです。

★ずば抜けた結果の投資のプロだけが気づいていること



銘柄選択のヒントが満載されている良書です。